



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>  
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）小原 康嗣  
 問合せ先責任者（役職名）経営企画室長（氏名）飯高 成美（TEL）046-271-2124  
 半期報告書提出予定日 2026年5月13日 配当支払開始予定日 2026年6月1日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前期中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	36,067	27.9	6,033	46.8	6,178	40.7	3,877	31.8
2025年9月期中間期	28,203	6.6	4,111	△3.8	4,391	△4.3	2,942	△5.0

（注）包括利益 2026年9月期中間期 6,695百万円（161.7%） 2025年9月期中間期 2,558百万円（△34.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	256.20	226.47
2025年9月期中間期	182.44	162.94

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	104,662	74,470	71.0
2025年9月期	103,830	74,679	71.8

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 74,325百万円 2025年9月期 74,533百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2026年9月期	—	60.00			
2026年9月期（予想）			—	90.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	15.9	11,480	18.4	11,800	16.0	7,600	12.4	502.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期中間期	20,869,380株	2025年9月期	20,869,380株
2026年9月期中間期	6,455,367株	2025年9月期	5,496,267株
2026年9月期中間期	15,135,669株	2025年9月期中間期	16,125,824株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 地域別販売状況	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年10月1日~2026年3月31日)における世界経済は、不透明感のある情勢下、一部地域に弱含みが見られたものの、米国が堅調を維持し、欧州に持ち直しの動きが見られるなど、総体的には回復基調となりました。

我が国経済につきましては、個人消費や企業の設備投資に持ち直しが見られるなど、景気に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる各業界の概況は次のとおりとなりました。自動車業界につきましては、環境対応車の再定義が行われる中、世界各地で前向きな設備投資姿勢が継続しました。エレクトロニクス業界では、先端半導体デバイスでの市況回復が見られましたが、レガシー品では調整的な設備投資動向が継続しました。また、電力業界では、中長期的視野に立った配電設備の拡充や更新が計画的に行われました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高360億67百万円(前年同期比27.9%増)、営業利益60億33百万円(前年同期比46.8%増)、経常利益61億78百万円(前年同期比40.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益38億77百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

なお、2024年12月10日に、送配電部品等の製造販売を営む株式会社NSSK-QQ(同日付けで、エナジーコンポーネンツホールディングス株式会社に商号変更)を子会社化し、電気機器関連事業に参画しておりますが、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前中間連結会計年度におきましては、当該事業につきましては第2四半期3ヵ月(2025年1月1日~2025年3月31日)のみの業績を反映しております。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む数値を記載しております。

#### 溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、世界各地で堅調な生産活動が行われ、車体組立分野の継続的な設備投資が見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は202億44百万円(前年同期比18.8%増)、部門営業利益は30億95百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

#### 平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、高度半導体デバイスにおける用途の多様化などを背景とし、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、安定的な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進に努めたことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は120億25百万円(前年同期比30.7%増)、部門営業利益は24億90百万円(前年同期比101.4%増)となりました。

#### 電気機器関連事業

電気機器関連事業につきましては、取引先である電力業界において、配電設備の拡充や更新が行われ、電線・ケーブルの接続機材などの継続的な資材投資が見られました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は37億98百万円(前年第2四半期3ヵ月比93.7%増)、部門営業利益は4億75百万円(前年第2四半期3ヵ月比36.4%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### 1 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は1,046億62百万円と、前連結会計年度末に比べて8億32百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が19億51百万円、自己株式の取得のための預け金が2億62百万円、のれんが2億8百万円減少した一方、売掛金が15億37百万円、有形固定資産が17億27百万円増加したことなどによります。

負債は301億92百万円と、前連結会計年度末に比べて10億41百万円増加しました。契約負債が11億63百万円、賞与引当金が3億11百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が3億45百万円、未払法人税等が3億53百万円、その他流動負債が14億54百万円、繰延税金負債が3億43百万円増加したことなどによります。

純資産は744億70百万円と、前連結会計年度末に比べて2億9百万円減少しました。利益剰余金が24億94百万円、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が27億86百万円増加した一方、自己株式を55億6百万円取得したことなどによります。

### 2 キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は161億71百万円と、前連結会計年度末と比べて20億45百万円減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加額が7億48百万円、契約負債の減少額が12億94百万円、法人税等の支払額が16億3百万円となった一方、税金等調整前中間純利益が61億78百万円、減価償却費及びその他の償却費が9億4百万円、棚卸資産の減少額が3億98百万円発生したことなどにより、差引37億35百万円の資金の増加となり、前中間連結会計期間に比べ12億44百万円の収入減少となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が5億45百万円、その他投資活動による支出が1億99百万円発生した一方、定期預金の純減少額が11億56百万円となったことなどにより、差引4億15百万円の資金の増加となり、前中間連結会計期間に比べ177億68百万円の支出減少となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の取得のための預け金の減少額が2億62百万円となった一方、自己株式の取得による支出が55億6百万円、配当金の支払額が13億82百万円発生したことなどにより、差引67億1百万円の資金の減少となり、前中間連結会計期間に比べ41億17百万円の支出増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業におけるアジア地域での業績が堅調に推移していることなどから、当連結会計年度における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、2025年11月12日に開示しました業績予想を上回る見通しであります。詳細につきましては、2026年5月7日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、今回の修正予想に係る為替レートは、1米ドル=157円を前提としております。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,118	24,166
受取手形	22	7
電子記録債権	3,669	3,977
売掛金	14,389	15,927
有価証券	61	71
商品及び製品	10,629	9,935
仕掛品	7,662	8,436
原材料及び貯蔵品	5,204	5,206
預け金	262	—
その他	1,559	1,313
貸倒引当金	△336	△358
流動資産合計	69,243	68,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,675	10,557
土地	6,114	6,164
その他(純額)	5,978	7,774
有形固定資産合計	22,768	24,496
無形固定資産		
のれん	3,862	3,653
その他	1,898	1,822
無形固定資産合計	5,760	5,475
投資その他の資産		
投資有価証券	1,681	1,709
長期預金	2,923	2,773
その他	1,457	1,529
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	6,057	6,007
固定資産合計	34,586	35,978
資産合計	103,830	104,662

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	5,980
1年内返済予定の長期借入金	82	81
未払法人税等	1,366	1,719
契約負債	6,147	4,983
賞与引当金	1,229	917
その他	2,379	3,833
流動負債合計	16,838	17,515
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,571	7,556
長期借入金	289	244
繰延税金負債	3,405	3,749
役員退職慰労引当金	43	43
退職給付に係る負債	691	758
その他	310	324
固定負債合計	12,311	12,676
負債合計	29,150	30,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	82,205	84,699
自己株式	△19,947	△25,453
株主資本合計	64,183	61,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	303
為替換算調整勘定	10,063	12,849
その他の包括利益累計額合計	10,349	13,153
非支配株主持分	146	144
純資産合計	74,679	74,470
負債純資産合計	103,830	104,662

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	28,203	36,067
売上原価	18,905	24,413
売上総利益	9,297	11,654
販売費及び一般管理費	5,186	5,620
営業利益	4,111	6,033
営業外収益		
受取利息	214	167
受取配当金	6	7
為替差益	124	63
その他	158	68
営業外収益合計	504	307
営業外費用		
支払利息	10	8
自己株式取得費用	124	137
その他	89	16
営業外費用合計	224	162
経常利益	4,391	6,178
税金等調整前中間純利益	4,391	6,178
法人税、住民税及び事業税	1,640	1,966
法人税等調整額	△179	324
法人税等合計	1,460	2,291
中間純利益	2,930	3,887
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△11	9
親会社株主に帰属する中間純利益	2,942	3,877

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	2,930	3,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	18
為替換算調整勘定	△403	2,789
その他の包括利益合計	△371	2,808
中間包括利益	2,558	6,695
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,570	6,682
非支配株主に係る中間包括利益	△11	12

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	4,391	6,178
減価償却費及びその他の償却費	884	904
のれん償却額	104	208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△232	△345
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	53
受取利息及び受取配当金	△221	△175
支払利息	10	8
為替差損益(△は益)	△19	△48
自己株式取得費用	124	137
有形固定資産除売却損益(△は益)	61	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,437	△748
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,112	398
仕入債務の増減額(△は減少)	325	△106
契約負債の増減額(△は減少)	1,246	△1,294
その他	426	10
小計	6,439	5,169
利息及び配当金の受取額	258	175
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額	△1,709	△1,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,979	3,735
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△5,225	1,156
長期預金の預入による支出	△1,472	△0
長期預金の払戻による収入	841	—
有形固定資産の取得による支出	△1,589	△545
有形固定資産の売却による収入	33	4
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	6	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,735	—
その他	△209	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,352	415
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△41	△41
自己株式の取得による支出	△2,196	△5,506
自己株式の取得のための預け金の増減額(△は増加)	1,169	262
配当金の支払額	△1,483	△1,382
非支配株主への配当金の支払額	△13	△14
その他	△18	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,583	△6,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	504
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,821	△2,045
現金及び現金同等物の期首残高	37,401	18,217
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,580	16,171

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、東京証券取引所における市場買付けにより、2025年10月1日から2025年10月29日までに普通株118,800株、507百万円の取得を行いました。

また、2026年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、東京証券取引所における市場買付けにより、2026年2月16日から2026年3月10日までに普通株840,300株、4,999百万円の取得を行いました。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	電気機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,043	9,199	1,960	28,203	—	28,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	17,043	9,199	1,960	28,203	△0	28,203
セグメント利益	2,758	1,236	348	4,343	△232	4,111

(注) 1 セグメント利益の調整額△232百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△231百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 電気機器関連事業は、みなし取得日を2024年12月31日としているため、当中間連結会計期間において、当第2四半期3ヵ月(2025年1月1日～2025年3月31日)のみの業績を反映しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	電気機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,244	12,024	3,798	36,067	—	36,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	20,244	12,025	3,798	36,068	△0	36,067
セグメント利益	3,095	2,490	475	6,060	△26	6,033

(注) 1 セグメント利益の調整額△26百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△26百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
現金及び預金	31,856百万円	24,166百万円
取得日から3か月以内に満期の到来 する短期投資(有価証券)	24百万円	71百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△9,300百万円	△8,066百万円
現金及び現金同等物	22,580百万円	16,171百万円

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	17,071	+19.9
平面研磨装置関連事業	7,539	△22.1
電気機器関連事業	3,692	+104.0
合計	28,303	+10.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 電気機器関連事業は、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前中間連結会計期間において、第2四半期3ヵ月(2025年1月1日～2025年3月31日)のみの業績を反映しております。

## ②受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	21,396	+21.1	11,048	+37.0
平面研磨装置関連事業	12,703	+37.0	27,317	△12.7
電気機器関連事業	3,271	△2.8	1,897	+35.1
合計	37,371	+23.3	40,264	△1.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 電気機器関連事業は、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前中間連結会計期間において、第2四半期3ヵ月(2025年1月1日～2025年3月31日)のみの業績を反映しております。

## ③販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	20,244	+18.8
平面研磨装置関連事業	12,024	+30.7
電気機器関連事業	3,798	+93.7
合計	36,067	+27.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 電気機器関連事業は、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前中間連結会計期間において、第2四半期3ヵ月(2025年1月1日～2025年3月31日)のみの業績を反映しております。

## (2) 地域別販売状況

(単位: 百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	15,036	16,505	3,093	1,432	36,067	—	36,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,365	929	27	28	2,351	△2,351	—
計	16,402	17,434	3,121	1,460	38,419	△2,351	36,067
セグメント利益	3,056	2,479	212	268	6,017	15	6,033

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。